

【答 弁】 現在要望は67路線あり、31年度9路線と債務負担行為で4路線計上、簡易舗装事業としては13路線計上又帰還再生生活道路舗装事業で原町区の6路線、合わせて19路線を予定。現在あがっている要望については平成35年度ぐらいまで計画的に進めていく。

【建 議】 常磐自動車道対策一般経費 609万円

【質 疑】 南相馬鹿島スマートインターチェンジの通行時間を24時間化に向けた今後の見通しについて伺う。

【答 弁】 平成29年度の通行実績は1日590台の通行量、平成31年度は交通量の解析や整備効果を調査し、24時間化を目指して国との協議を進めていく。



南相馬鹿島スマートIC

【建 議】 メモリアルパーク整備事業 1億300万円

【事業内容】 東日本大震災の津波による犠牲者への追悼と震災記憶の伝承のため、メモリアルパークを整備する。

【質 疑】 全体整備が2ヘクタールであり、その中で300平方メートルの用地取得だが進捗状況について伺う。

【答 弁】 購入する300平方メートルについては、多目的広場の予定箇所が現在保全林になっていて平成31年度内に保全林の解除がされ平成31年度、32年度の事業計画内での売却は問題ないとの回答を得ている。

【文 学 力 向 上 教 員 配 置 事 業】 1千473万円

【事業内容】 学力向上教員の配置
・ 小学校 3人
・ 中学校 1人

【質 疑】 今回中学校は採用見込みが1人で30代の方の想定であるが、あえて若手の先生とした理由、及び外

部から招くことで、担当教諭の指導力も高まるような取り組みとなるのか伺う。

【答 弁】 1つの中学校に2人の数学の教員がいる学校が多いことから、そこに1人を配置することで、それぞれの学年に1人ずつ配置できるようになり、自分の学年をもって整理しながら、指導に当ることができると。また、時間的な余裕が出てきて、1学年の数学の先生が自分の空きの時間にも入ってTT指導を行うことができる。その為に、ほかの教員と合わせることができて、ある程度の力量も必要なことから30代程度に落ち着いた。

【文 中 学 生 海 外 研 修 事 業】 1千162万円

【事業内容】 中学生海外研修の実施（モデル事業）
参加生徒…20人

【質 疑】 平成31年度はモデル事業であり、平成32年度以降の事業展開を具体的に

条例審査

【総 南 相 馬 市 東 日 本 大 震 災 等 復 興 基 金 条 例 制 定 について】 **【主 な 内 容】**

※ 現行基金と新設基金との住み分け

	設置目的	活用期間
復旧・復興基金	早期の復旧及び復興を推進する	平成24年度～平成34(2022)年度 ※設立から概ね10年間
みらいへつなぐ復興基金	復興に向けて中長期的に取り組む	平成31年度～平成42(2030)年度 ※復興創生期間の残期間 +復興創生期間終了後10年間

※ 基金造成額（42.2 億円）の原資
南相馬市東日本大震災復旧・復興基金：40 億円
市有地貸付収入（沿岸部太陽光・風力発電事業用地）：1.2 億円
沿岸部大規模太陽光発電事業に係る地域協力金：1 億円

【質 疑】 基金造成額が40億円強ということだが、向こう10年間の計画事業に見合う額なのか伺う。

【答 弁】 基金の処分については、教育・子育て、地域医療・健康づくり、産業振興、震災後に整備した公共の維持管理補修の財源に充てる

していくとある。また、1学年40人前後の児童生徒がいる中で、この事業を何年間に渡って継続する構想なのか伺う。

【答 弁】 平成31年度の成果と課題をきちんと検証し、そのあとに拡充する方向で考えている。最終的な考えとしては、修学旅行ということで、中学校のある学年のところ全体と考えている。

【質 疑】 平成31年度のモデル事業で20名の生徒を市内から選考するとあるが、平等性・公平性を勘案した具体的な選考方法について伺う。

【答 弁】 公平性、平等性については非常に重要ということではある。そこで、諸条件を考慮し2年生を対象として、定期的には夏休みと考えている。また、公平性については、一部の地域等で行っている交流等が、成果等も上がっていることから、市全体でやってみようかという考え、いくつかのいいのかと考える。全中学校を対象としている。そういった大きな意味では、公平性については担

ときという規定である。審査の結果、原案の通り可決。

【文 南 相 馬 市 東 日 本 大 震 災 等 による被災者に対する国民健康保険税及び介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例制定について】 **【主 な 内 容】**

東日本大震災等による被災者に対する平成31年度の国民健康保険税及び介護保険料の負担軽減を図るため、必要な改正を行うもの。

【質 疑】 市民から継続の要望があり、要望書も市長から出されているが、議会でも毎年提出しているが、現状を踏まえ、今後も要望を続けていくという理解でよいのか伺う。

【答 弁】 平成31年度は来年度の3月まで減免ということになるが、今後も継続頂くよう要望していきたい。

【答 弁】 基金の処分については、教育・子育て、地域医療・健康づくり、産業振興、震災後に整備した公共の維持管理補修の財源に充てる

保している。

【質 疑】 ペンドルトン市やイギリスのロセット校との交流事業にかかる自己負担のとの整合性、経費の考え方を伺う。

【答 弁】 平成31年度以降実施するに当たって、負担金のあり方について、不均衡を是正するという考えのもとに、こちらを再検討していきたい。

【文 市 営 球 場 大 規 模 改 修 事 業】 1億3千26万円

【事業内容】 ナイター照明スコアボード改修工事
バックネット改修工事

【質 疑】 今回の改修工事の内容に照明のLED化に取組むとあるが、野球場の使用形態によって、照度が分かれていることから、取り付けるLED照明の内容について伺う。

【答 弁】 市営球場大規模改修工事に伴うナイター照明の工事については、既存の電球を全面LEDに変える工事を予定している。

【総 南 相 馬 市 手 数 料 条 例 の 一 部 を 改 正 する 条 例 制 定 について】 **【主 な 内 容】**

南相馬法務局証明サービスセンターの設置により、土地台帳の閲覧のみの表現に改めるもの。

【質 疑】 土地台帳の閲覧を廃止することで、市民サービスの低下にならないのか。

【答 弁】 廃止しても南相馬市法務局証明サービスセンターを利用して、より正確な情報を入力できることから、問題はない。

【文 南 相 馬 市 印 鑑 の 登 録 及 び 証 明 に 関 する 条 例 の 一 部 を 改 正 する 条 例 制 定 について】 **【主 な 内 容】**

1 改正概要
本人が来庁し、本人であることが確認できた場合に限り、印鑑登録証の掲示が無くても印鑑登録証明書を交付できることとするもの。
2 施行日
平成31年4月1日

【質 疑】 予定では2021年度までかかるということだが、前倒して整備していくことも必要ではないか。

【答 弁】 太田小学校と大甕小学校は、大規模改修と同時にトイレ改修工事を行っており、改修にあたり国の補助を受けている。こちらに5年経過せずに手をつけ



市営球場

なお、ナイター設備だけではなく、バックネットの改修工事やスコアボードの塗装工事も含めて、皆さんが利用しやすい球場となるよう改修工事を行う。

ると補助金の返還が発生することから、このようなスケジュールになっている。

【文 公 立 学 校 適 正 化 推 進 事 業】 78万円

【事業内容】 南相馬市公立学校適正化計画に基づき、小中一貫校や小規模特認校制度導入をはじめ、特色と魅力ある学校づくりを目指す。

【質 疑】 取り組みの中で小中一貫校等先進事例研究のため、先進校視察が予定されているが、視察校選定の考えについて伺う。

【答 弁】 平成30年度は、主に施設一体型の小中一貫校を視察し、平成31年度は、栃木県及び水戸周辺の主に小規模特認校の研究を予定している。制度導入後、児童数が増加した学校、逆に減少した学校の2校の訪問を予定しており、この制度導入による、メリット、デメリットを整理して、小学校の小規模特認校導入の研究を今後実施したい。

審査の結果、原案の通り可決。